

広島市教職員組合(全教)

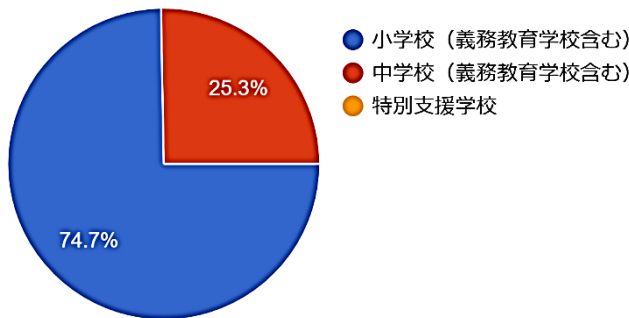
# 2024 働き方実態アンケート(中間報告)

アンケート実施期間:2024年4月~7月末日【中間報告:5月19日時点 回答数:88件】

5月13日、中央教育審議会・第13回「質の高い教師の確保特別部会」が開催され、「審議のまとめ」(以下、「まとめ」)を発表しました。全国の学校現場から「このままでは学校がもたない」という深刻な危機感が訴えられ、長時間過密労働と教職員未配置の解消のための施策を提言することが中教審の中心課題でした。しかし、「まとめ」が述べる施策は昨年、中教審への諮問に先立って自民党特命委員会が提言した内容を踏襲するものにとどまり、教育予算の大幅増額を必要とする施策も求めています。これでは、長時間過密労働と教職員未配置は解消しません。「まとめ」は全国の教職員、教育関係者の願いに応えていません。市教組(全教)は怒りとともに学校現場の長時間過密労働解消のための教職員の増員、教育予算増、時間外勤務に対する手当支給を可能とする給特法改正を実現にむけて行動していきます。

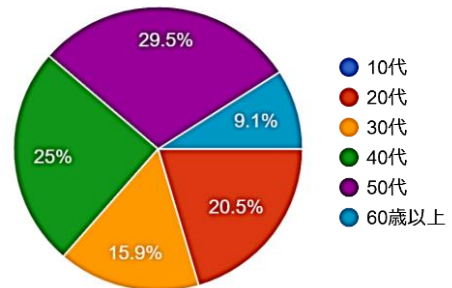
校種を選んでください。

87件の回答



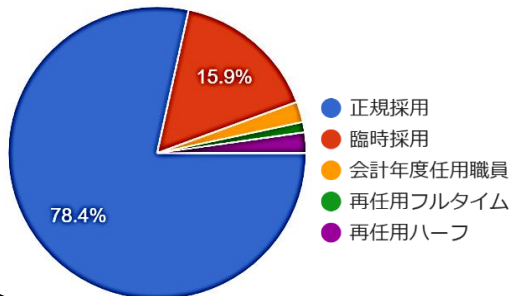
年齢を選んでください。

88件の回答



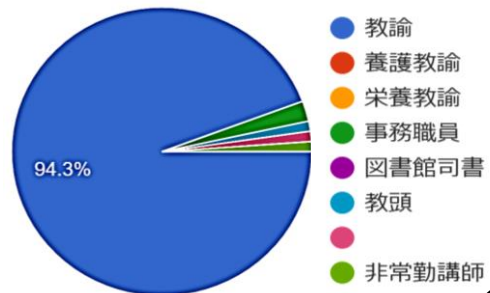
採用区分をお答えください。

88件の回答



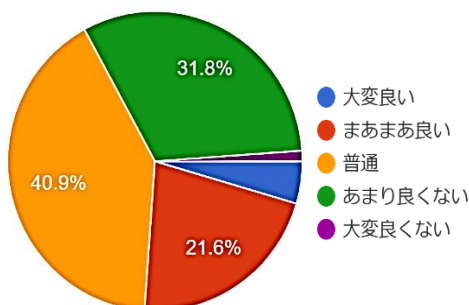
あなたの職種をお答えください。

88件の回答



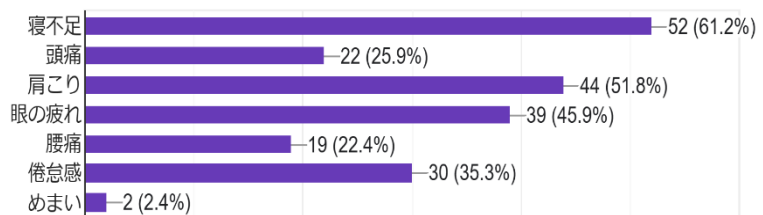
現在の健康状態は？

88件の回答



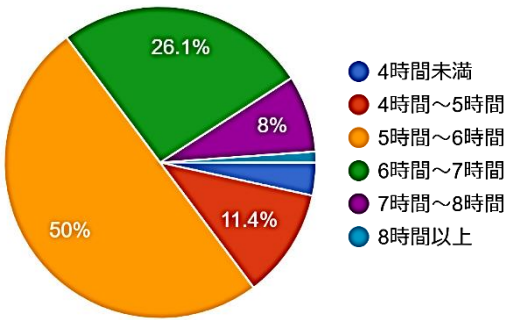
健康状態で気になる点は以下のどれですか？(複数回答可)

85件の回答



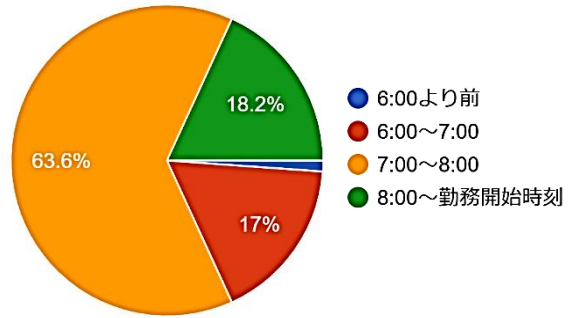
平日の睡眠時間はおよそどれぐらいですか？

88 件の回答



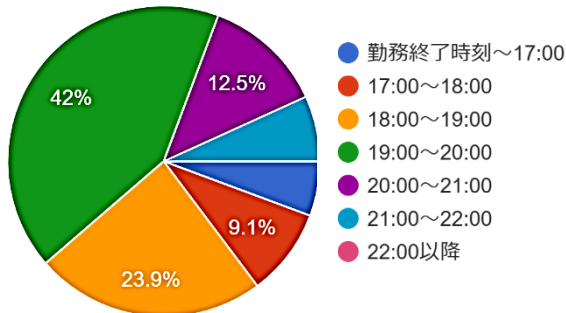
毎日の出勤時間はおよそ何時ごろですか？

88 件の回答



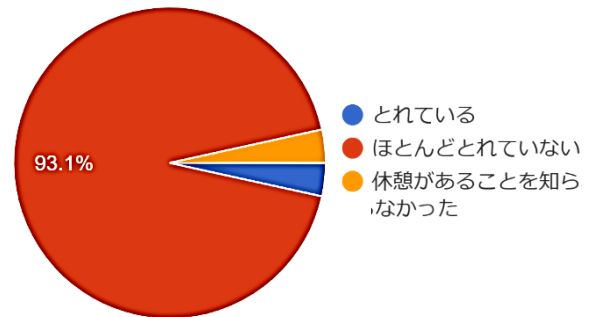
毎日の退勤時間はおよそ何時ごろですか？

88 件の回答



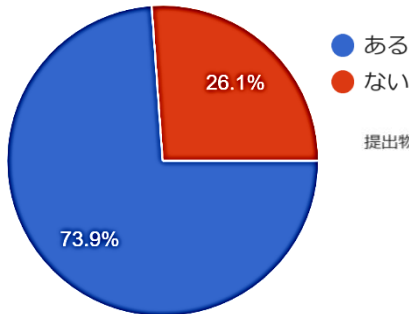
休憩時間を取れていますか？

87 件の回答



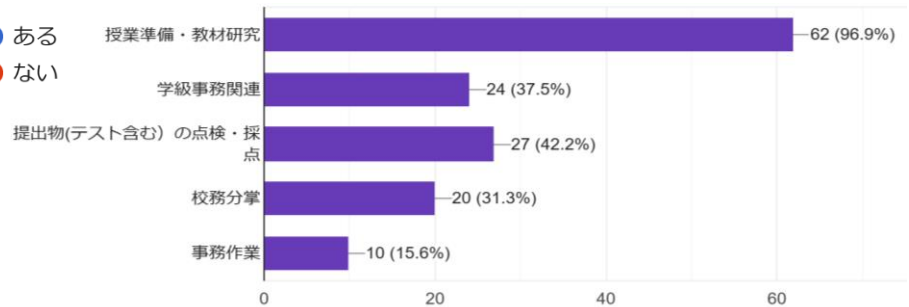
持ち帰り仕事はありますか？

88 件の回答



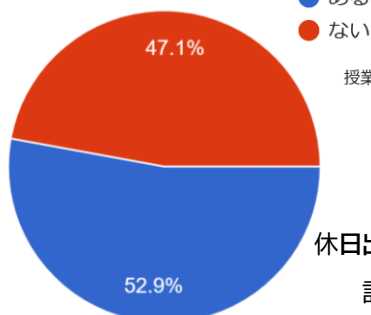
「ある」と答えた方へ、どのような仕事を持ち帰っていますか？（複数回答可）

64 件の回答



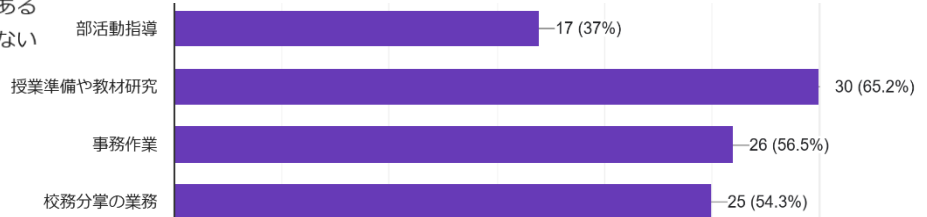
休日出勤はありますか？

87 件の回答



「ある」と答えた方へ、具体的にどのような仕事をしていますか？（複数回答可）

46 件の回答

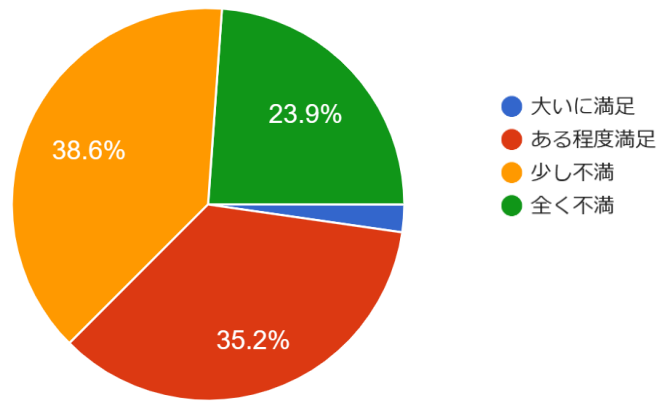


休日出勤の時、入退校記録をつけていますか？（70 件の回答）

記録している:34.3% 記録していない:65.7% 記録してはいけないと言われた:0%

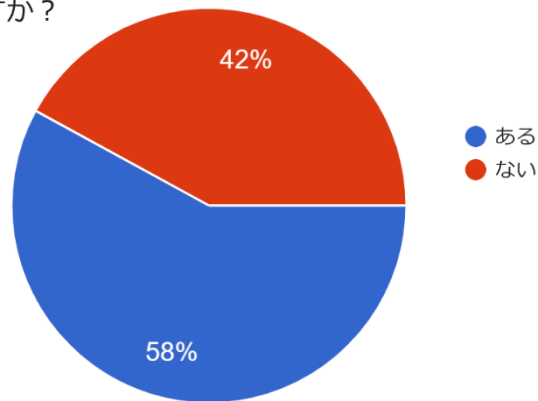
今の勤務状況に満足していますか？

88件の回答



教職員組合に興味はありますか？

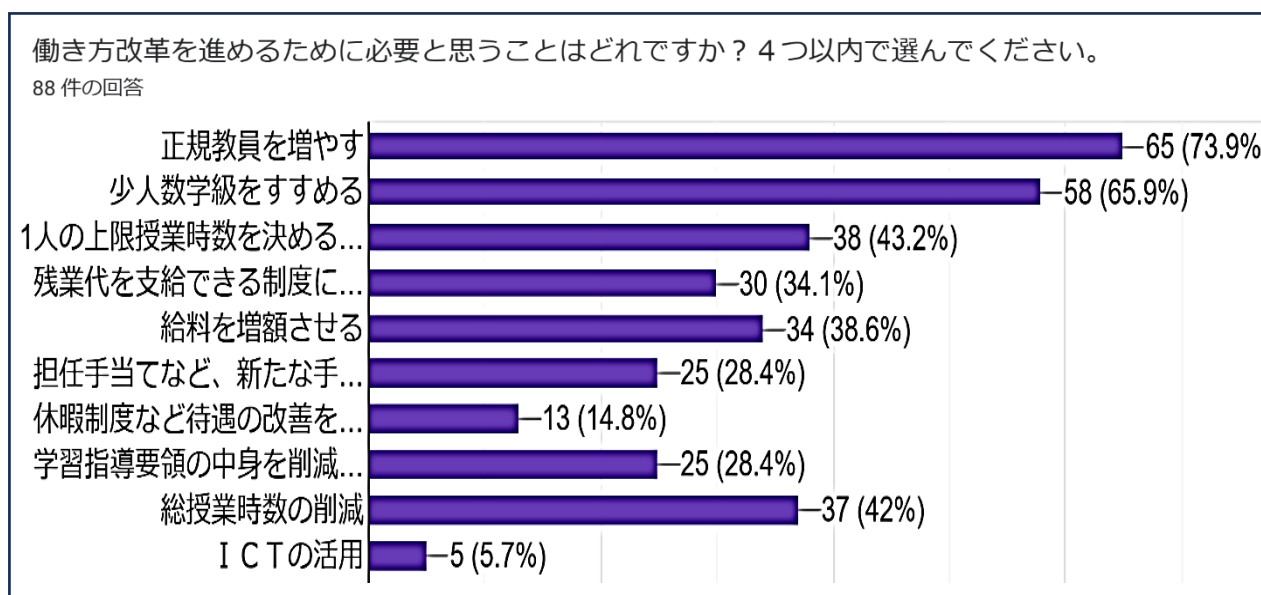
88件の回答



教職員組合にもっと取り組んでほしいことは何ですか？

- 働き方改革として、部活動の外部指導者を増やすのはいいが、今年度、増えた分、指導者一人当たりの時間数が減らされた。予算上の都合なのではと思うが、その公表も遅く、抜本的な働き方改革にはならないと思う。改善の取り組みをお願いします！
- 教育委員会への報告書類等の軽減
- 広島市立小中一貫校、県立小中一貫校の調査書をもっと簡素化してほしいです。かなり時間がかかります。私立並みに。
- 正規教員を増やすこと
- 休みの教員の代員の確保 教員増加
- やらなくてよい仕事の削減。
- 正規教員の仕事の削減について
- 働きやすい職場を増やして欲しい学校環境の組織力アップ
- 働き方改革 給与待遇改善
- 長時間勤務の解消
- 学校行事の削減。臨時教員を40年以上しているが、退職金が出ないので、先行きの生活が大変、不安。
- 教研活動
- 世間では教員不足が毎日のようにメディアに取り上げられている。今のままの働き方では成り手がなくなるのは当然である。単に仕事量の多さだけが問題なのではなく、教員同士の人間関係で心を傷め、辞めている人も多い。具体的には案はないが、組合の方にはもっと現場を変えてほしい。
- 日々、児童の下校時刻を14時までにして、放課後の仕事の時間を増やす。そのために、芸術教科を選択制にしたり、教える内容を減らす。
- 子育て支援
- 勤務時間の減少、給料の増額
- 給特法の見直し改訂

## 中教審「審議のまとめ」と現場の願いの乖離がこのアンケートでも判明！



中教審の「審議のまとめ」では「給料の増額」「担任手当などの新設」が提言されています。しかし、現場からはそれを望む声はいずれも多数とは言えません。それよりも「正規教員を増やす」「少人数学級をすすめる」「一人の上限授業時間数を決める」ことこそが今の働き方を変えるために必要だという意見が圧倒的多数です。

このような職場からの切実な声を、ぜひ皆さんの職場からも広げていきましょう。

アンケート集約は7月末日まで実施します。引き続きの取り組みを広げていきましょう。

私たち市教組(全教)は勤務時間に終わる仕事量を求めるとともに、その実現には教職員の大幅な増員を求めています。

アンケート募集中！まだの方はぜひこちらからお願いします。⇒ ⇒ ⇒  
(職場で同僚の方へのアンケート呼びかけをお願いします。)



## あなたに「要求の主体者」として、声をあげる仲間になってもらいたい！

### ぜひ全教へ加入を！

### あなたの加入をお待ちしています。

市教組(全教)加入希望の方はこちらから ⇒

